



No.55

2024 April
[MISA会報 第55号]

- 賀詞交歓会
- MISA会員向けアンケート調査結果
- 委員会活動報告

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp
■URL/<https://www.misa.or.jp> ■企画・編集/広報委員会 ■印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社



令和6年賀詞交歓会開催

会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 **阿部 嘉男**



宮城県情報サービス産業協会（MISA）の会長を務める阿部でございます。新年のご挨拶を申し上げます。

まずは、令和6年の新春を皆様と共に迎えられたことを心より喜ばしく思います。本日は、宮城県、東北経済産業局、仙台市をはじめ多くの来賓の皆様にお集まりいただき、心から感謝申し上げます。また、会員の皆様には MISA の活動に対するご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

今年は、新年早々に能登半島での地震や飛行機の事故といった災害に見舞われ、不安な年の幕開けとなりました。私たちは過去に東日本大震災の際に全国からの支援を受けており、今回は MISA からできる限りの義援金を送りたいと考えています。皆様からのご協力をお願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの終息が見え始め、経済の回復が順調に進むかに思われましたが、ロシアのウクライナ侵攻も長期化しており、加えてイスラエルとハマスの戦闘が昨年10月に始まるなど、世界情勢は不透明な状況が続いています。

さて、我々、情報サービス産業協会を取り巻く状況も変化しており、政府のデジタル社会実現に向けた重点計画が昨年の6月に閣議決定されました。行政のみならず、国民の社会経済活動全体のデジタル化を急速に進展させるということとなります。また、村井知事率いる宮城県でも、全庁挙げてDX化を推進していますし、産業振興にもDXの活用を積極的に取り組んでいます。

また、東北大学では青葉山にナノテラス次世代放射光施設が間もなく竣工し、その活用に業界全体が注目しています。

更に、DXの流れの中で生成AIの活用が大きなトレンドとなっています。各業界での活用に加え、IT業界そのものも変化が必要になってきています。我々は、この変化に迅速に対応し、新たなビジネスの創出に努めて

いく必要があります。

今年度の MISA の活動は第9次中期計画（R4～6年度）の2年目に入りますが、今年度の計画を継続するとともに、以下の3点に力を入れ取り組みたいと考えています。

1点目は、人材確保と新たな時代に対応した人材育成です。会員各社のお話を聞きますと、業績はまあまあ好調なのですが、人手不足で対応できないという声をよくお聞きします。「伊達な ICT-WORK せんだい・みやぎ」のようなプラットフォームや産学連携などを積極的に活用し、地元のIT企業で働く若者を確保、そして増やすとともに、業界のニーズに対応した人材育成に取り組んでいきます。

2点目は、DX並びに生成AIへの対応です。DXの進展により必要なIT技術や産業構造そのものが変化しています。この変化に業界としていち早く学習して対応していく必要があると考えています。

3点目は、IT産業の構造変化に対応したビジネスの創出です。IT業界そのものがクラウドやAI、そしてIoTなど新たな技術の進展が著しい業界構造そのものが大きく変化しています。その変化に対応し、新たなビジネス創出をしていく必要があります。

今後、これらの取り組みを具体化するため、MISAの各委員会で施策の詳細化を進めていきます。

MISAは、東北及び県内最大のIT業界団体であり、全国的にも3番目ぐらいの規模を誇っています。東北経済産業局を始めとする行政機関、地元の大学や専門学校との連携を一層強化し、MISAのプレゼンス向上に努めていきます。皆様のご協力とご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、MISA並びにご参加の皆様のますますの発展を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

賀詞交歓会概要

新春恒例の賀詞交歓会が1月19日（金）、「TKP ガーデンシティ仙台」において、東北経済産業局、宮城県、仙台市、関係団体からのご来賓を含め、会員皆様220名を越える出席者のもとで開催されました。

まずは、協会を代表し、阿部会長より新年の挨拶があり、その後、ご来賓の皆様からご祝辞をいただきました。続いて、委員会報告として人財委員会の報告が、岡田委員長より行われました。その後、木

村副会長の乾杯の音頭により懇談が始まりました。

コロナウィルス感染拡大収束後とはいえ、まだまだコロナ感染に注意しながらの開催でしたが、多くの会員の方に参加いただき、始終和やかな雰囲気の中で、会員相互の情報交換や親睦を深める場となりました。最後は柴崎理事によって一本締め音頭がとられ、盛況裏に終了することができました。

ご来賓、そして会員の皆様の多数ご出席いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

来賓挨拶



宮城県企画部長 **むしゃみつあき 武者 光明 様**

皆様、新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、賀詞交歓会が盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

初めに、元旦に発生した能登半島地震などでお亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

東日本大震災では、石川県をはじめ全国から温かいご支援をいただきました。宮城県としては、そのご恩返しとして、被災地の復旧・復興をしっかりと支援してまいりたいと考えています。大変な年明けとなりましたが、この後は良いことが続く一年となることを願っています。

明るく兆しとしましては、コロナも落ち着きを見せ、本日のような賀詞交歓会も開催できるようになりました。3年余りにわたるコロナ禍によって停滞していた県民生活や社会経済活動が再び動き始めてきました。また、JSMCホールディングス株式会社の県内進出が決定し、県内産業に大きなインパクトを与えることが見込まれます。こうした社会課題の解決やチャンスを生かしていくために必要不可欠なのが、まさにデジタル技術であり、その担い手である県内の情報サービス産業の皆様が果たす役割は、ますます大きなものとなっています。

県では、DXによる「変革みやぎ」の実現に向けて、皆様と連携しながら、あらゆる分野でデジタル技術のフル活用を進め、県民サービスの向上や県内産業の活性化

等を図っていきます。その上で、デジタル人材の確保・育成は、皆様がさらなる事業展開を図る上での源であります。貴協会のノウハウやネットワークを用いて、多様なご協力をいただきながら取組をさらに充実させていきたいと考えています。

ここで、宮城県のPRをさせていただきます。来月9日金曜日に、「Miyagi Pitch Contest」を初めて開催いたします。これは、飛躍的な成長を目指すベンチャー企業がデジタル技術を活用したビジネスプランで競い合うイベントで、優勝者には賞金100万円と事業者支援金最大900万円、合わせて1,000万円となります。県の意気込みを感じていただけるのではないのでしょうか。ご興味のある方は、当日午後2時から仙台市青葉区大町のCROSS B PLUSで開催しますので、ぜひご来場ください。宮城県が起業家精神を有する若者やスタートアップ企業を惹きつけるチャンス溢れる地域となるよう取り組んでまいります。

今年も、デジタルファーストの考え方の下、貴協会及び会員企業の皆様と力を合わせて、DXの推進、富県宮城の実現を図ってまいりたいと考えています。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会と本日ご出席の皆様にとりまして本年が実り多き良い年となりますことをご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

来賓挨拶

東北経済産業局長 **とべ ちひろ**
戸邊 千広 様



ただいまご紹介いただきました東北経済産業局長の戸邊でございます。

まず冒頭、このたびの能登半島地震で被災された全ての方に心よりお見舞いを申し上げます。また、この震災の関係で様々なご支援をいただいている、あるいは先ほどお話あったようにご支援していただく関係の皆様に、この場で御礼を申し上げます。

経済産業省としても、電力等のインフラの復旧、そして暖房器具、燃料といった必要物資の供給、そして、次のフェーズとしては商工業者の復旧支援など、このようなことに全力で取り組んでいきます。

さて、政府はこれまで、国内投資を促して、そして生産性向上・イノベーションにつなげて、そして、賃金アップ・所得向上を実現するという、「投資」、「イノベーション」、「所得」の3つの好循環の実現に取り組んできました。先ほど阿部会長から、昨年はいろいろな国際的な状況もあって不透明な状況だったというお話がありましたけれども、実は、コロナも第5類に移行したので、社会経済活動が活発化しました。その結果、国内投資は結構増えており、かつ賃金も増えています。この両方も30年ぶりの高水準という数字です。

このように投資も増えて、賃金も増えて、物価も上がるのが、成長経済です。この成長経済への転換をしっかり実現していくため、政府は昨年12月に経済対策17兆円規模を補正予算として国会も通りました。また、年末には国内投資を加速的に促進していくということで国内投資促進パッケージを発表しました。

今日はお時間をいただき、経済産業省の施策を3つほどご紹介します。

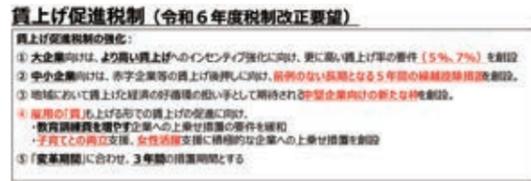
図1 令和5年度補正予算：省力化投資への支援メニュー

施策名	内容、目的	補助率等
① 中小・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模設備投資補助金 【令和5年度補正予算額1,000億円】	地域の雇用を拡大する中小・中小企業が、雇元の人手不足等の課題に対応し、成長していくことを目指して行う工場等の拠点の新設や大規模な設備投資を促進し、地方においても持続的な賃上げを実現。	補助率 50% ※ 総額 100億円以上 補助年 1/3
② 中小企業生産性革命推進事業（ものづくり・商業・サービス補助金） 【令和5年度補正予算額2,000億円/内訳】	中小企業が行う、革新的な製品・サービスの開発、生産プロセス等の省力化に必要な設備投資を支援する。	中小企業（メーカー）等 補助率 1/3 ※ 賃上げ補助金 補助率 半々 1/2 ※ 商業・サービス 補助率 半々 1/2
③ 中小企業省力化投資補助金 【令和5年度補正予算額1,000億円】 【中小企業等関係行政事務費削減】	人手不足に悩む中小企業等のため、方角から汎用型器具を導入して行うような設備投資を促進し、省力化投資への支援を行う。	中小企業（メーカー）等 補助率 1/2 ※ 従来業務削減による削減
④ 物流効率化に向けた先進的な実証事業 【令和5年度補正予算額300億円】	製造業の物流・物流の自動化・機械化に関する機器・システムを導入し、物流効率を向上させることで、省力化や物流効率化の投資効果を増大させる実証を行う。	【1】製造業 補助率 半々 1/2 【2】中小企業 2/3

1つ目は、「令和5年度補正予算：省力化投資への支援メニュー」についてです。

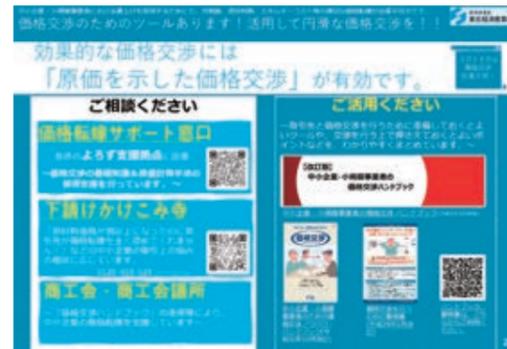
これも阿部会長から人手不足という話がありましたが、日本全国どこでもそうなのです。この人手の確保に労力を投入してしてもなかなか厳しく解決しないので、できるだけ機械化できるところは機械化することを支援するために、施策として「省力化投資の支援メニュー」を新設あるいは拡充しています。

図2 令和6年度税制改正要望



2つ目は、「令和6年度税制改正要望」についてです。先ほど申し上げた3つの好循環、「投資」、「イノベーション」、「所得」という中でも、所得につなげるということでは賃上げが重要な要素です。この賃上げ促進税制は、来年度の税制改正要望であります。昨年の足元の賃金は、これは物価が高いということもありましたが、賃上げ水準が上がっています。この数字、トレンドを引き続き維持するべく賃上げ促進税制を強化しています。中堅企業の枠を追加するとともに、中小企業に対しても、今までの賃上げ率のその税額控除のところ、さらにやはり人材育成というのが重要ですので、人材教育あるいは女性活躍等のダイバーシティへの取組には、プラスアルファのその税額控除を予定、要望しているところです。さらには、中小企業向けに5年間の繰越控除ということも今要望をしているところです。

図3 価格転嫁交渉



3つ目は「価格転嫁交渉」についてです。

賃金引上げにつながる要素としては、やはり取引適正化、価格転嫁です。しっかり転嫁をすることが重要です。昨年、政府や経産省、公取などが30万社のアンケート調査を行い、大手企業（150社程度）の価格交渉に関する成績表を公表しました。特に労務費の価格転嫁が重要視され、公取は指針を示しました。これには、資材費やエネルギー代も含まれ、労務費の認識が高まっています。また、交渉の場を定期的に設けることや、公表データを活用することが提案されています。企業には、補助金や税制措置などの施策を活用し、積極的な賃上げや投資を行うよう呼びかけられています。

来賓挨拶

仙台市経済局長 **やなつ ひでたか**
柳津 英敬 様



仙台市経済局長の柳津と申します。今年度の4月から経済局長を務めさせていただいています。初めてお会いする方も多いかと存じますが、本日は議会がありましたため、少々遅れての参加となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、令和6年がスタートしましたが、元旦に能登半島地震が発生し、我々も大変なショックを受けました。被災された皆様に関心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本日は、MISA会員の皆様とお会いでき、大変嬉しく思います。会長のリーダーシップの下、皆様が多岐にわたる活動を展開されていることに、私たちも心から敬意を表する次第です。

現在、デジタルというキーワードで情報化が急速に進展しています。私たち役所自身が一番変化を遂げる必要

今年辰年です。これまでの動きから、経済の変化の兆しが見えております。この勢いを維持し、竜頭蛇尾にならないように、投資を促進し、賃金を引き上げ、可処分所得を増やすことで、経済を活性化させたいと考えています。皆さんもこの実感を共有し、引き続きご指導やご協力をお願いします。

最後に、MISAの益々の繁栄と本日お集まりの皆様のご健勝、ご多幸を祈念しまして、私のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

※注 東北経済産業局 戸邊局長の当日のプレゼン資料全文はMISAホームページ参照。

があり、フルデジタルの市役所を目指して取り組んでいるところです。先日の日経新聞で、仙台市がデジタルの偏差値で1位になったという報道を見て驚きました。これは様々な計算方法があり、その一つの例を取ると1位になったとのことだと思いますが、今後も市民に誇れる成果を出せるよう、努めていきます。ただし、これは市役所だけでは達成できるものではありませんので、今後とも皆様のご協力が不可欠です。

また、DXにおいては、単にデジタル化するだけでは進展しません。トランスフォーメーションが重要です。変化の激しい時代において、私たちは変革を遂げなければなりません。この変化をチャンスに変え、令和6年、辰年を飛躍の年としていきたいと思ひます。

本日は多くの皆様とお話をさせていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



MISA 会員向けアンケート調査結果について

情報サービス産業を取り巻く環境は、情報通信技術の著しい進展に伴い、DXへの対応や生成AIの活用など、ビジネスそのものや経営環境が大きく変化しつつあります。このような状況の中、MISAでは、会員各社の現状やニーズを把握するため、毎年定期的にアンケート調査を実施しています。今回は135社（前年度118社）から回答をいただきました。

なお、本結果は全調査の中から抜粋して掲載しているため、詳細はMISAホームページを参照下さい。
 (https://www.misa.or.jp、本報告の設問番号は全調査の設問番号を使用)

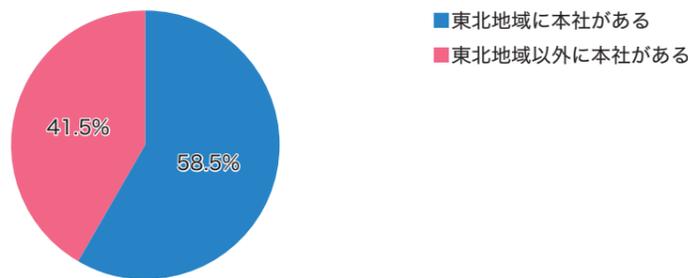
- 調査期間：令和5年10月10日～27日
- 目的：会員状況の定点観測、MISA関連事業への反映、施策の整合確認、活動推進に活用
- 対象企業：MISA会員 正会員企業
- 調査方法：アンケートフォーム（Google）や紙（Excel）による報告

【調査結果（概要）】

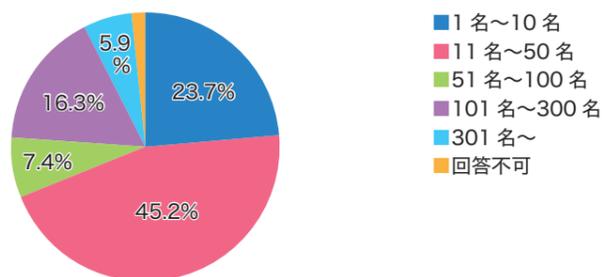
(1) 事業所の概要（ほぼ前年どおり）

- ・東北地域に本社がある企業が約60%。前年より多少減少。
 - ・従業員が50名以下の企業は約70%。前年より50名以下が多少増加。
- これは、首都圏の企業が仙台圏に支社・支店を展開し、少人数事務所が増加した影響か？

設問 1-1 貴事業所の本社所在地を回答下さい。
135件の回答

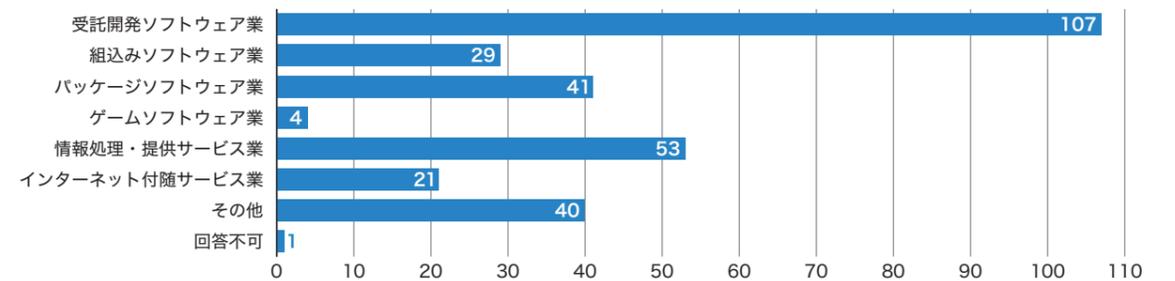


設問 1-3 貴事業所の従業員数(正社員数)を回答下さい。
135件の回答

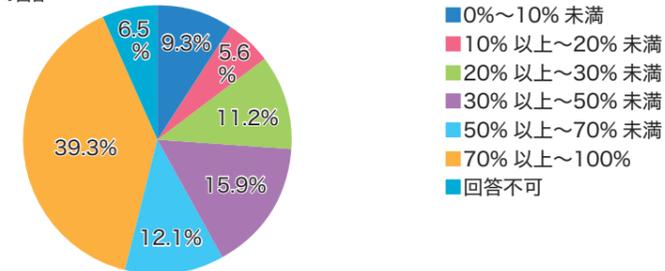


- ・会員の業種は、顧客の委託によるソフトウェア作成を行う「受託開発ソフトウェア業」が最も多い。（約80%）
- ・「受託開発ソフトウェア業」が50%以上の企業が50%強である。

設問 1-4-1 貴事業所の業種を全て回答下さい。
135件の回答



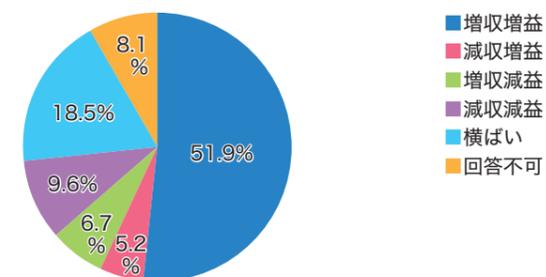
設問 1-4-3 【設問 1-4-1】で「受託開発ソフトウェア業」を選択時、売上割合を回答下さい。
107件の回答



(2) 業績（売上高の増減率）

- ・「増収増益」との回答は、昨年51%、今年度52%。好調が続いている企業が多い。

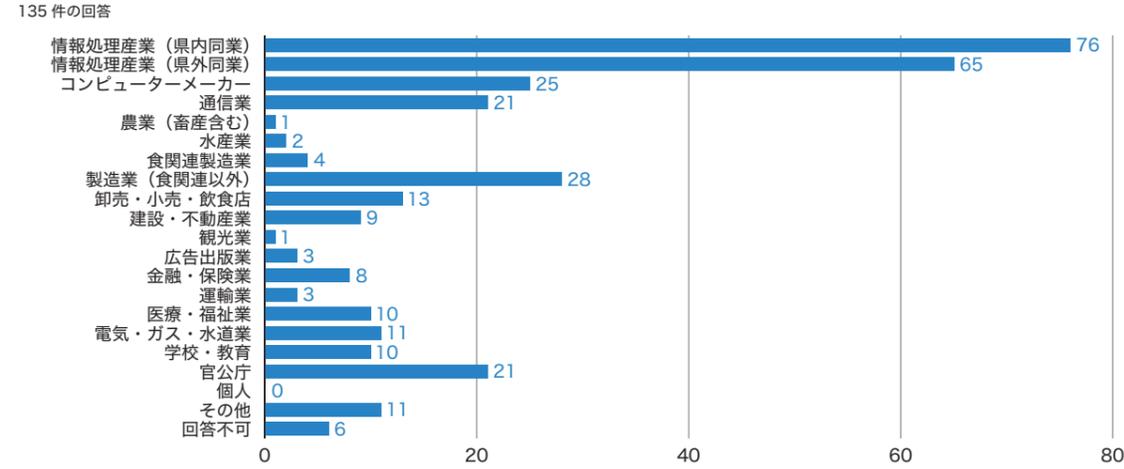
設問 2-2 貴事業所の前年度と前々年度を比較した前年度の売上高の増減率を回答下さい。
135件の回答



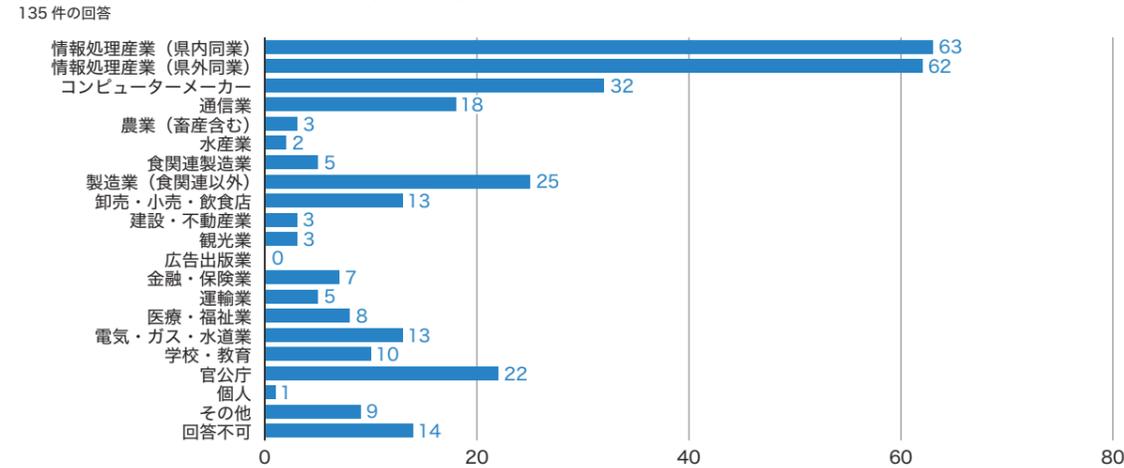
(3) 経営課題・成長戦略等

- ・ 主要な取引先は、同業者間（情報処理産業（県内、県外））が多い。（昨年と同じ）
- ・ 今後注力予定（拡大予定）取引先についても、同業者間（情報処理産業）が断然多い。（前年と同じ）

設問 4-1-1 貴事業所の主要な取引先の業種、売上額上位3つまで回答下さい。

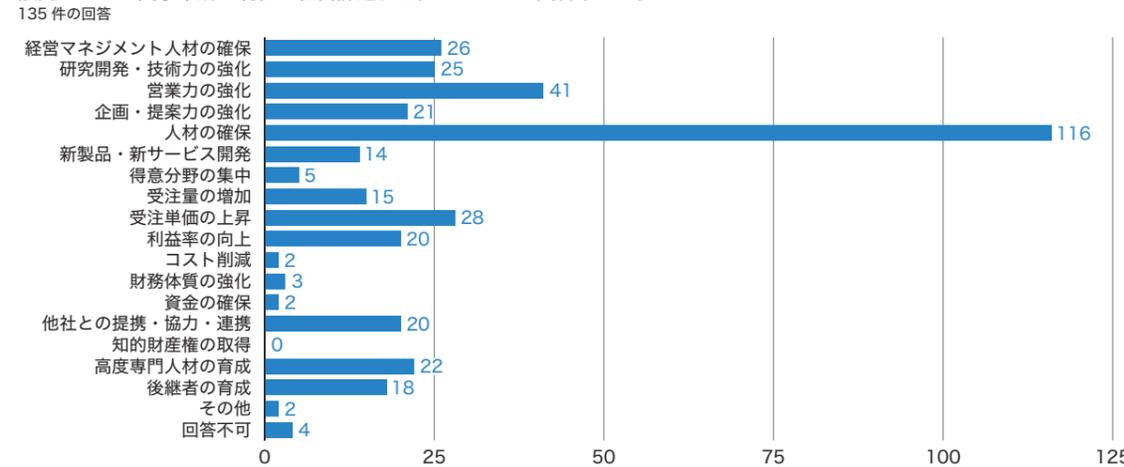


設問 4-2-1 貴事業所が今後注力予定（拡大予定）取引先の業種、上位3つまで回答下さい。



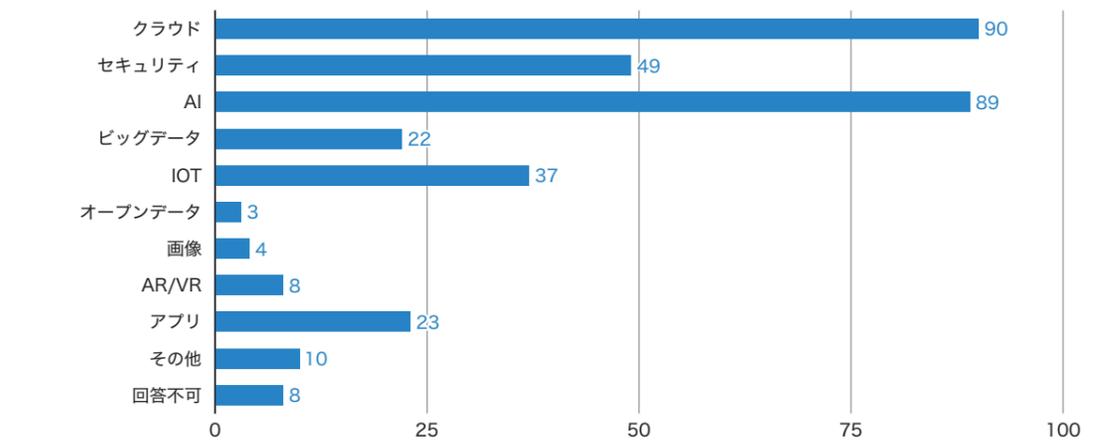
- ・ 現在抱えている経営課題は、「人材確保」が各社共通する課題であり、さらに「営業力の強化」「技術力の強化」などが続く。

設問 4-6-1 貴事業所の現在の経営課題、上位3つまでを回答下さい。



- ・ 注目している分野は、「クラウド」「AI」が昨年と比べても断然多い。「セキュリティ」IoTと続く。（傾向については、前年と同じ）

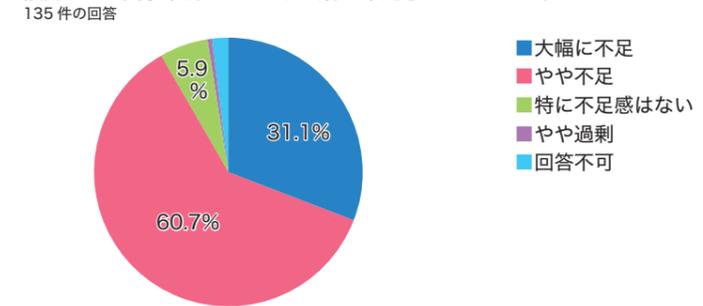
設問 4-7-1 貴事業所で注目している分野、テーマ等を3つまで回答下さい。



(4) 雇用・人材、採用

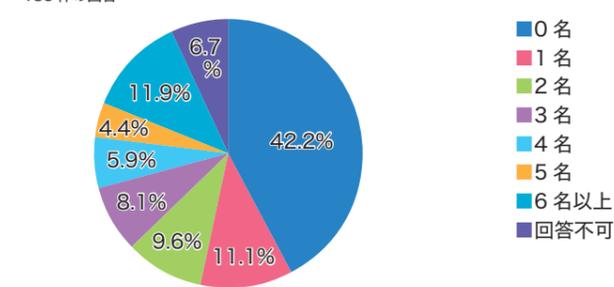
- ・ 人材不足感は、「大幅不足」「やや不足」を合わせて、80%以上になり、深刻な状況。

設問 5-1 貴事業所において、人材の不足感はありませんか。

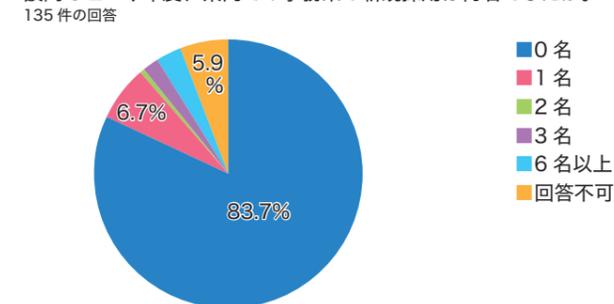


- ・ 今年度の新規採用は技術系で採用できない（0名）が40%強、事務系でもあまり採用していない。また、技術系の中途採用が多少増えている。（アンケート本文参照）

設問 6-1 今年度、県内での技術系の新規採用は何名でしたか。



設問 6-2 今年度、県内での事務系の新規採用は何名でしたか。



委員会報告

生成系 AI セミナー

事業共創
委員会

事業共創委員会では、昨今大きな注目を集めている、ChatGPTに代表される生成系AIに関するセミナーを10月、1月にオンラインにて開催しました。文章でのやりとりのみならず、画像生成や動画の生成など日々めざましく進展しており、数か月前の情報は古いといわれるほどです。プログラミングの自動化など、システム開発分野での活用方法や、日常業務においても音声の文字起こしや議事録作成、補助金申請書の作成など効果を上げている事例なども紹介いただきました。我々の業務においてもぜひ積極的に活用をすすめたいと思います。

〈生成系AIの活用による業務革新〉

□開催日：2023年10月31日（火）15:00～16:30

□講師：株式会社MAKOTO Prime
代表取締役 竹井 智宏 氏

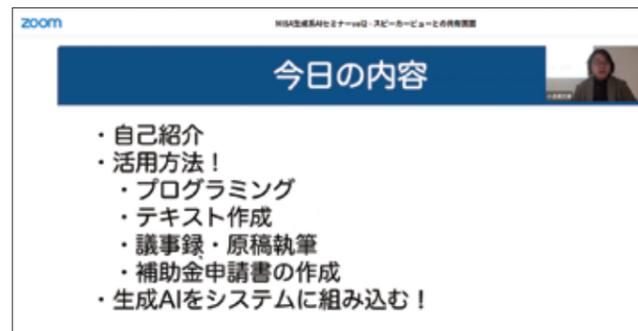
□参加者：25名

〈システム開発分野への生成系AI活用〉

□開催日：2024年1月17日（水）15:30～17:00

□講師：株式会社テセラクト
代表取締役社長 小泉 勝志郎 氏

□参加者：32名



第2回のセミナーの様子

参加者アンケートより抜粋

- ・生成AIは個人レベルでは活用しているが、会社内でも徐々に活用の需要が高まっているのを感じており、より応用を効かせる上で参考になった。
- ・生成系AIを業務でも多少使用していたが、自分の知っている以外に色々なものに使用できるとわかった。
- ・生成AIの業務での活用方法を、実例などを通して学ぶことができた。
- ・社内の教育資料の作成に有効活用できると感じた。

委員会報告

法的問題セミナー

経営委員会

2023年12月8日（金）にハーネル仙台4階青葉にて、日本総研 執行役員法務部長 大谷和子様を講師に迎え「セキュリティ要件不備によるベンダの責任」をテーマとして法務セミナーを開催いたしました。

裁判例の変遷に見るベンダの義務やセキュリティ要件に関するモデル契約の活用等とタイムリーな内容に受講者は熱心に耳を傾けていました。

21社27人（経営委員会6社8名含まず）が受講し、関心の高さが伺える盛況ぶりでした。



委員会報告

中堅社員研修

人財委員会

人財委員会・育成Gの「中堅社員向け研修」では、主にリーダー層向けにマネジメントスキルやヒューマンスキルの「学び」を支援しています。

さらに、多岐にわたる若手～中堅層の教育ニーズに応えるため、2022年度には「自己成長を加速！自立型中堅社員養成研修」を、2023年度には「社会人2、3年フォローアップ研修」を研修メニューに追加し、「自己理解の促進 ・人間関係性の向上 ・リーダーシップとフォロワーシップ」などについて、2年目～若手～中堅層がそれぞれの年次で必要とされるマインドの形成とともに習得する機会を提供しています。

No	コース名	開催日	参加者数	満足度
1	SEのためのチームマネジメント研修	10/11(水)・18(水)	10社20名	90.0%
2	2,3年目フォローアップ研修	10/12(木)	8社19名	94.4%
3	自己成長を加速！ 自立型中堅社員養成研修	12/5(火)	9社24名	86.9%
4	システム開発におけるレビュー技法	12/14(木)・15(金)	6社14名	92.9%

※「2,3年目フォローアップ研修」のみリアル開催。他はオンライン開催。

2024年度の開催計画は、随時こちらに掲載いたします。

<https://www.misa.or.jp/seminar/>



より、そう、ちから。
東北電カグループ

私たちがTOINX(トイックス)は、
ITで実現する新たな価値を
社会に届け続けます。
ともに手をとりあい、
どんな時も誰よりも近くで、
しっかりと支え、キツチリ守ります。
さらに、一歩踏み込んだ提案をし、
期待をこえる感動を届けます。

ITで、
感動を、
ともに。

トイックス
TOINX

株式会社トイックス

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北
TEL 022-799-5555 FAX 022-799-5561

MISA 会員企業 NEW 技術情報 Part12

新時代のビジネスコミュニケーションを実現する「CrewWorks」サービスを3月4日に開始！



テクノ・マインド株式会社では、ビジネスチャット、タスク管理、Web会議、ファイル共有など、ビジネスに必要なツールを統合したオールインワンのクラウドサービス【CrewWorks（クルーワークス）】を2024年3月4日に開始いたしました。

新型コロナウイルスの拡大に伴い、ビジネスチャットやWeb会議などのコミュニケーションツールの利用が増えました。しかし、様々なツールを導入したことによる課題も見えてきました。CrewWorksでは以下のような課題や不満を解決いたします。

課題1：使用するツールが多すぎる

Web会議はこのツールで、チャットはあのツールで・・・と、用途に合わせて複数のツールを併用するのが面倒。

→ビジネスチャット、タスク管理、Web会議、ファイル共有機能が統合されているので、CrewWorksの中ですべての情報を一元管理できます。



ビジネスチャット

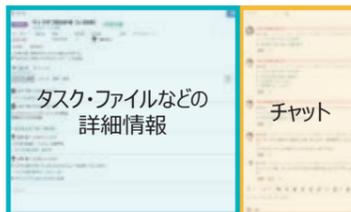


Web会議

課題2：情報がバラバラの状態に・・・

複数のツールを使っていると、情報が集約できず、検索に時間がかかる。

→CrewWorksでは、タスクでもファイルでも、開いている画面の右側に必ず専用のチャットルームが付いています。関連する情報を一画面で確認することができ、機能をまたいで検索もできるため、知りたい情報にすぐたどりつけます。



タスク・ファイルなどの詳細情報

チャット

タスク管理



機能横断検索

課題3：価格が高い

ツールを併用すると、それぞれに費用がかかり、コストが悪い。

→CrewWorksは単一サービスとして提供することでコストを抑えます。

◇CrewWorksの料金プラン <https://crewworks.net/price/>

・スタータープラン(ビジネスチャット、タスク管理、ファイル共有)

：600円/ユーザー/月(税抜)

・スタンダードプラン(ビジネスチャット、タスク管理、ファイル共有、Web会議)

：900円/ユーザー/月(税抜)

CrewWorksでは30日間の無料トライアルを実施しております。

簡単登録で全機能をお試いただけますので、お気軽にお申込みください。

◆無料トライアル：<https://crewworks.net/trial/>

ご不明点などございましたら下記よりお問い合わせください。

◆お問い合わせ：<https://crewworks.net/contact/>

CrewWorks開発秘話

CrewWorksの開発には、当社初のチャレンジとなる未経験の技術者を多く採用しました。私たち開発チームは、サービスの核となる要素技術について、時間をかけてPoCを行い、試行錯誤を繰り返しながらひとつひとつの課題を乗り越えてきました。

具体的には、シャード化されたマルチテナントデータベース、Redis PubSubを用いた負荷分散可能なチャット、メッセージングを利用した長時間処理の非同期化、そして、多様なデバイスで透過的に機能するプッシュ通知などが挙げられます。その過程は、必ずしも順調とは言えないものですが、この経験がチーム全体の技術力の向上につながったと確信しています。

CrewWorksはビジネスコミュニケーションに新しいスタイルを提案する画期的なサービスです。今後も機能強化や品質改善を追求し、よりよいサービスを目指していきます。

MISAフォトコンテスト結果報告

MISA会報55号フォトコンテストに、会員企業17名44作品のご応募をいただきました。テーマ：「宮城の〇〇」とし、グランプリ、準グランプリ2作品と佳作14作品が決定いたしました。グランプリ作品には商品券、準グランプリ作品と佳作にはQUOカードがそれぞれ贈呈されます。



準
グランプリ

やくらいガーデン
アンブレラスカイ
日立Astemo仙台(株)
萱場 史成 様



春を待つ海
(株)SRA東北
阿部 嘉男 様



佳 作
(順不同)

榴岡公園
(株)アートシステム
鹿目 仁 様



朝焼けの金華山と漁火
(株)アートシステム
菅原 壮浩 様



菜の花
(株)トインクス
作間 陽一 様



宮城の野球と夏祭り
(株)フジビジネスセンター
鹿野又 寛 様



秋の散歩_1
(株)アイエスピー東北
土井 夕香里 様



御番所公園から金華山を臨む
システムニacol(株)
田代 紀生 様



Take Off
(株)東北システムズ・サポート
山内 祐治 様



鳴子峡
(株)トレック
柴崎 健一 様



メジロ
(株)アイティフラッグス
久保 哲雄 様



水槽とシルエット
(株)アド・エータタイプ
菅原 涼 様



宮城の大観音
(株)トレック
カーメン・ニコラス 様



旧家の雛
(株)アド・エータタイプ
小野 昌幸 様



鳴子の巨大こけし
(株)アートシステム
鳥澤 強志 様



宮城で生きる
(株)インターコムR&Dセンター
鈴木 貴 様



MISAでは、ホームページ・Facebookページより情報発信を行っています。是非ご覧ください！



MISA ホームページ



MISA Facebookページ



ホームページURL
<https://www.misa.or.jp/>



FacebookページURL
<https://www.facebook.com/miyagi.misa>



「安心」「安全」「快適」なITインフラ環境を最先端の技術で実現



ITインフラの設計・構築・運用・保守
ネットワーク・サーバ・セキュリティ



株式会社FYF

～ITソリューションでより良い未来を～

会社HP <https://www.fyf-h.com>

×(旧 Twitter) @FYF_INC

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町1-6-18 東北王子不動産ビル5F
株式会社FYF 東北支店 TEL 022-226-7290 FAX 022-226-7291

会員異動状況 (令和5年10月1日以降の入会関係)

正会員-入会
賛助会員-入会

会員数 (正会員……197社 賛助会員……36社)

入会日	会員名 (代表者名)	住 所 TEL・FAX
10月1日	ポルムス(株) (代表取締役 山田 紗季穂)	〒980-0013 仙台市青葉区花京院 1-2-15 ソラプラザ 3F TEL 022-380-8046
10月1日	(有)ツダプロセス (専務取締役 高橋 貴紀)	〒983-0841 仙台市宮城野区原町 4-1-22 TEL 022-295-1037 FAX 022-299-2625
12月1日	(株)モノクラフト (代表取締役 五十嵐 朗)	〒982-0012 仙台市太白区長町南 1-1-27 副都心会館 M-4D TEL 022-762-8250 FAX 022-762-8280
12月1日	(株)F Y F (東北支社 支社長 阿部 憲博)	〒980-0803 仙台市青葉区国分町 1-6-18 東北王子不動産ビル 5F TEL 022-226-7290 FAX 022-226-7291
1月25日	(株)CryptoLab (取締役社長 岩佐 浩)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町 2-8-15 太陽生命仙台ビル 7F TEL 022-302-6205
3月11日	東北アンドロボティクス(株) (代表取締役 清水目 勝洋)	〒980-0021 仙台市青葉区本町 2-2-3 鹿島広業ビル 7F TEL 022-302-7030 FAX 022-302-7031
4月8日	パーソルクロステクノロジー(株) (マネージャー 内野 亮)	〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3-4-33 仙台定禅寺ビル 4F TEL 022-765-6427 FAX 022-215-6017
10月1日	(株)ネクストジェン (東日本営業所長 林 誠)	〒062-0931 札幌市豊平区平岸 1条 3-2-33 TEL 011-813-6060 FAX 011-813-6355

(敬称略)

MISA 第13回通常総会 開催のご案内

- 開催日時 : 令和6年6月12日(水)
通常総会 : 14:00~15:30
講演会 : 15:40~16:50
交流会 : 17:10~19:00
- 会 場 : TKPガーデンシティ仙台 (AER)

編 集 後 記

令和6年1月1日夕方に仙台市内も大きな揺れが突然襲ってきました。元旦の午後で実業団の駅伝放送も終了しうつらうつらしていた時なので、びっくりし避難できるよう窓を開けて、次の揺れに備えました。幸いにも揺れが収まったので、テレビをつけてみると、どのTV局も石川県能登半島付近で大きな地震があり、津波が来るので避難するよとの放送を繰り返すばかり。約13年前の東日本大震災の光景が思い浮かんできました。

その後の能登半島の地震の状況は、すでに皆様ご存じのとおり輪島市や珠洲市などで甚大な被害を受けました。改めて亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

MISAでは、阿部会長の呼びかけの下、令和6

年賀詞交換会会場にて「令和6年能登半島地震災害復興支援募金」を実施しました。その結果、参加者から**¥81,225円**の募金が集まりました。理事会(書面)にお諮りし、令和5年度予備費と合わせ、**合計¥300,000円**を2月13日に石川県の災害義援金受付に振り込みましたので報告します。被災された地域の復興には長い月日がかかりますが、一日も早い日常が戻ることをお祈りします。



(事務局 K)